２学年第７時「それって入ってない？」支援プラン　境界設定

【エクササイズ（ＥＸ）＆準備物】

　　ウォーミングアップ『境界さがし』　　：境界ワークシート（全員）拡大版

　　メインＥＸ『それって入ってない？ 』 ：境界アンケート（全員）、

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　ロールプレイングの衣装（子ども、母親）

【ねらい】

　自分の境界設定に気づく。また、日常生活の中で境界に侵入したり、侵入されたりしていることに気づき、それによってどのような感情になるか気づく。

【概要】

　境界には「身体の境界」「持ち物の境界」「時間と空間の境界」「責任の境界」「考え方の境界」「感情の境界」などいろいろな分野の境界がある。この授業ではまずウォーミングアップで「自分の持ち物」や「身体」の境界について考え、エクササイズで「感情の境界」について考える。人によって人との距離感が違うことに気づき、もし境界に侵入したり、侵入された時にどんな感情になるかを知る。次時の授業と２時間続きの第１時間目である。

【流れ】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 活動の流れ | 留意点・教具等 |
| ウォーミングアップ | 『境界さがし』  ①「持ち物」「身体」についての境界  ②境界ワークシート  　1)自分の持ち物で、友達が勝手にさわったり、中を見たりしてよい物は？  2)友だちにさわられてもいい身体の部分は？  3)親がしてもよいのは？  ③班で交流する。  ④全体で発表する。 | ○「距離」以外の境界についてふれる。  ○黒板にワークシート拡大判を掲示して、教員のモデリングからはじめるとよい。  ○境界が多様であることに気づく。 |
| エクササイズ | 『それって入ってない？』  ①教員二人によるロールプレイング  1)【気分に巻き込まれパターン】  　 友だちＡがイライラしている。イライラしている。ＢはＡを横にして、どうしようかとオロオロし、一生懸命 機嫌を取る。そのうち、Ａの機嫌は直るが･･･。  　2)【干渉パターン】  　 Ｂの母親はかなりの干渉型。いつもＢのやることなすこと口を出してくる。今日は、最近仲良くなった友だちのことについて、いろいろと言ってきた。干渉するのはやめてほしいのだが･･･。  ＊台本はＨＰよりダウンロードできます。 | ○子どもの衣装  ○Ｂがどうしたらいいのかわからない・・という心の動きを演じる。何も言えないイライラ。  ○母親の衣装  ○Ｂの母親に対する感情がわかるように演じる。何も言い返せないイライラ。 |
|  | 活動の流れ | 留意点・教具等 |
| エクササイズ | ②ロールプレイングを観て、感じたことを班で交流する。  ③境界アンケート『入ってない？　入られてない？』を配布。  ④アンケートに記入し、班で交流する。  ⑤班の代表が全体に発表する。  　　　＊境界アンケートはＨＰよりダウンロードできます。 | ○一般的に侵入されたときの感情は「怒り」「むなしさ」「徒労感」「傷つき」「利用された感じ」「束縛された感じ」などがある。  ○次時の準備のためにアンケートを回収する。 |
| ふりかえり・シェアリング | ①グループで気づきを交流する。  　＊自分や他者の境界を知ってどうだったか。  　 ＊侵入したり、侵入されたりということにに気づいたか。  ②ふりかえり用紙に記入する。 | フィードバックの視点  ・教員自身の侵入されたときの感情（があれば）を自己開示しながら、侵入されたときの気持ちに共感する。侵入は、ある意味「攻撃」でもある。 |

〔参考文献〕 ＡＳＫ選書（09）　『自分の「境界」がわかりますか？』

アスク・ヒューマン・ケア

【ポイント】

　自分が許せる範囲と許せない範囲を実際に物や身体について考えることで、自分の境界線についてよく知ることができる。教員は、ロールプレイを恥ずかしがらずになりきってすることで、子どもがそれを見て自分の感情に気づきやすくさせる。教員のロールプレイが重要である。侵入するという行為は、一種の「攻撃」でもあるということに気づいてもらうことが重要である。

|  |
| --- |
| 子どもの気づき |
| ・いろんな人がいてびっくりした。手を触られるのも嫌な人がいて驚いた。  ・人それぞれ境界は違うんだと思いました。自分はよいと思っても相手が嫌だと思っていることがあると思いました。  ・自分では全然気づかなかったけど、境界がなくてびっくりした。でも私にはなくてもみんなにはけっこう境界があったので、気をつけなきゃと思いました。  ・境界は目に見えるものだけじゃなくて心にも通じているんだなと思いました。なので、思いやりの心が大切だと思いました。 |

|  |
| --- |
| 教員からのコメント |
| ・ウォームアップは、人それぞれ境界が違うということに気づきやすく、生徒が自分の境界についても知ることができる活動であった。教員のロールプレイを興味津々に見ていた生徒の姿が印象的でした。教員の演技力が生徒自身の感情の気づきに大きく影響してくるので、いかにうまく演技できるかが重要だと感じました。日常生活でも起こりえる場面であることに気づかせ、第三者としてその様子を見ることで、自分や周りの言動を客観的に振り返ることができる。 |

＊道徳の内容項目との関連：　2-(3) 信頼友情　　　2-(5)　寛容・謙虚

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 （担当：川上　淳一）